

I. 昨年 2 月総会での確認 (会則より)

【目的】

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 安全保障関連法の廃止と自公政権による改憲阻止2 立憲主義の回復3 憲法を尊重し、個人ひとりひとりが大切にされ、暮らしを守る政治の実現 <p>「市民連合ふくおか」は、市民と野党の共闘、野党間の共闘をめざします。</p> |
|--|

【性格】

福岡県内にある『参加団体』の「横の連絡会」とします。

司令塔ではありませんし、『参加団体』の活動を束縛するものでもありません。

【主な役割】

①立憲野党の県組織との関係を深め、福岡県内での国政選挙における「市民と野党の共闘」「野党間の共闘」を深化させ、政策の共有・統一候補擁立などをめざします。

なお、首長選出などの自治体選挙においても、「野党共闘」の枠組みができるなどの条件が整えば、その候補者を応援します。

②福岡県内にある『参加団体』が、地域における市民団体・市民運動ならびに市民との繋がりを強化・活性化することを後押しします。

③市民連合的組織が選挙区内で未結成の場合、結成に向けての動きを支援します。

④全国とともに福岡県内の「市民と野党の共闘」「野党間の共闘」情報を発信・共有します。『参加団体』の活動・経験の共有もはかります。

- ・メーリングリスト (ML)
- ・facebook・twitter、動画配信
- ・ホームページ

⑤広く市民に対して働きかけ、投票率の向上と当団体の認知度向上に努めます。

そのためには、様々な政策課題を取りあげ、それらを実現するためには共闘が不可欠であることを知っていただく活動が大切です。

- ・講演会などの学習活動
- ・立憲野党・議員らを招いた対話集会の開催
- ・街頭宣伝の実施、集会の開催
- ・マスコミ・記者へのアナウンス
- ・様々な共通グッズ (チラシ、ポスター・プラカード、ノボリ旗など) の作成と参加団体への提供

II. 2022 年 2 月～2023 年 1 月の活動振り返り

①定例化している活動、その他

★組織改編と運営方法の変更

昨年 2 月総会で、県内 9 つの『参加団体』のネットワーク型組織に改編したことで、運営のあり方を変更し、原則として毎月第 3 日曜日夜に ZOOM で開催する運営会議を決定機関とすることになった。各『参加団体』の運営委員 (複数) ・共同代表・事務局員で構成し、顧問・実

務担当・会員有志がオブザーバー参加している。別途、事務局会議を、原則として毎月第4日曜日夜に ZOOM で開催し実務を進めている。

★県内の市民団体・市民運動との繋がり強化

福岡県総かがり行動実行委員会や福岡県九条の会が主催の集会・行動に随時参加。県内団体との共闘を維持するため。

一部労組、労組青年部メンバーとの懇談も実施した。

★市民連合的組織が未結成な選挙区に対して

福岡3区・11区。福岡3区では、参院選前に市民団体の関係者に集まっていたいただき、参院選に向けての実行委員会を結成し、行政区（糸島市・福岡西区・福岡早良区）ごとに、投票率向上を促す街頭行動を各1回実施した。

★参加団体の活動の共有化

運営会議の際に報告をお願いし、共有を図っているが、不十分であったと思う。

★全国の共闘についての情報把握と発信・共有

市民連合（東京）が毎月開催している「拡大運営会議」と、隔月開催している「全国意見交換会」に共に参加し、全国の動向について把握し、メーリスで報告、組織内での共有を図っている。

★講演会などの宣伝活動について

4/16に佐々木寛さん（市民連合@新潟共同代表）の ZOOM 講演を開催した。共闘の先進事例を学ぶため。

参院選後は、ZOOM 配信の形で、cafe“自由亭”を3回実施した。

②2022年7月の参院選に向けて

★立憲野党の県組織（地域政党も含む）と4月・5月に懇談を行い、市民連合ふくおかが作成した「参議院選挙に向けた政策要望書」への合意・署名を求めた。4/21日本共産党、5/5れいわ新選組、5/12ふくおか緑の党、5/17社会民主党が署名。6/16立憲民主党が口頭合意。国民民主党は合意なし。

「参議院選挙に向けた政策要望書」（見出しのみ列举、全文は資料添付）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 経済格差の是正に努めるとともに、地域経済の活性化を図る政策への転換2. 誰もが安心して、自分らしく生きられる多様性ある社会の実現3. 戦争と核兵器のない平和な社会の実現4. 原発に頼らず。地球環境が守れる社会の実現 |
|---|

※全国的には、市民連合（東京）が、5月連休明けに参院選に向けての政策合意を口頭で確認した。

★上記「政策要望書」に合意があった政党の参院選候補者を支援した。選挙期間中は、メーリスを使って、街宣・集会などを毎日紹介。一部、映像でも紹介した。

★チラシ（一般向け2.5万枚、若者向け3.5万枚）を作成し投函。投票率向上を促す。

★ポスター（いのうえしんぢさんデザイン 600枚）を作成し配布。投票率向上を促す。

★1区市民連合などが、選挙管理委員会に不在者投票所の拡大、投票率向上をはかる宣伝強化

などの申し入れを行った。

★各選挙区ごとに、投票率向上を呼びかける街頭宣伝を、複数回にわたって実施した。

⇒（福岡県内での結果）

投票率 48.76%（2022年 全国35位）（前回・2019年 42.85%）

福岡選挙区（定数3） 自民・立民・公明の順で当選

⇒全国的には、自民・公明・維新などの改憲勢力が2/3以上の議席を占め、衆参ともに改憲勢力が2/3以上となった。「黄金の3年間」と言われたが、参院選の投開票日直前に起こった安倍元首相の暗殺事件により、統一教会と政治家との癒着、統一教会の献金問題と信者家族の問題が噴出し、マスコミ報道も盛んで、国政を揺るがすことになった。そんななかで、岸田政権は、9月27日に安倍元首相の国葬を強行した。国葬とは何か？ なぜ国葬を行うのか？ 国民に弔意を強制するのか？ などの批判が高まり、全国各地で国葬反対の声が上がり、市民運動側が反転攻勢に打って出ることになった。

③参院選後、目前に迫る改憲の動きなどに対して学習会を実施

★cafe“自由亭”第6回～第8回、ZOOM開催・YouTubeにアップ、現時点で200回弱再生

第6回 池上 遊さん「全解説 自民党改憲草案」

第7回 石川捷治さん「アジアの平和と日本の政治」

第8回 星乃治彦さん「教訓としてのドイツーコロナ・ウクライナの現在ー」

④2022年11/20 投開票の福岡市長選に対して

★「福岡市から政治をかえる会」（2022年8月結成）に参加して選挙戦に関わった。

⇒意義として

- ・福岡市議会における野党共闘、市民と野党の共闘が大いに進んだのと、地域課題に取り組む、地域で活動する諸団体（市民団体・政党・労組）とのつながりも深まった。
- ・2023年春の統一地方選などに随時関わり、方向性は維持していきたい。
- ・但し、自治体の政治状況は、地域により異なる点が大いにある、『参加団体』により考え方の違いがあるので、『参加団体』の自主性に任せることとする。

⑤岸田政権が閣議決定という形で示した安保政策の大転換、防衛予算倍増の動きに対して

★2015年に制定された安保法制の方向性に実態をもたせるものである。2023年1/23開催の通常国会に向けて、反対の声を高めるよう、運動を組む必要がある。

★1/29学習会を開催。対面・ZOOM併用で40人が参加。

実施後のYouTube配信は約200回再生されている。

星乃治彦さん「日本の平和をどう考え、どう伝えるか」学習会

★1月末～2月にかけて、原則として福岡県所属の野党国会議員（11人）に対して質問状を送り、回答を求め、公表する予定（2/17㍻切り）。

Ⅲ. 2022年2月～2023年1月の活動総括と2023年方針

組織改編にともない、会議・活動の仕方が大きく変わった。県内『参加団体』を取りまとめ、立憲野党県組織との懇談を行い、政策要望書への合意を取り付けるなど、2022年参院選に向けては、県内での統一した行動が一定程度とれたと思われる。

ただし、会議の多くが ZOOM 開催となったことで全体として関係性が希薄になってしまったこと、参院選は全国的には敗北感が強く、さらに野党第一党である立憲民主党の指導力への疑義、国会審議における野党共闘の後退もあって、「市民と野党の共闘」を進めようといった機運が欠けがちになっている。2023 年 4 月実施の統一地方選は、国政の方向性に影響を与えると思われるが、地域事情が異なることで野党共闘を組むことが難しい側面もあり、政治状況を変える動きにブレーキをかけている側面もある。こうしたことを反映してか、市民連合（東京）全国意見交換会や、市民連合ふくおかの運営会議への参加者数が少なくなっている。

現在、岸田・自公政権は、閣僚のドミノ辞任、統一教会との癒着問題で支持率を低下させている。ここは、野党に頑張ってもらって、政権交代に追い込むチャンスでもある。ところが、岸田・自公政権は、衆参ともに安定した国会運営ができる議席数を確保していること、昨年 2 月のウクライナへのロシア侵攻以降の日本社会の世論の変化、立憲民主党を中心とする立憲野党への期待感が高まらないことなどを背景に、物価高対策・子ども政策など、国民の命と暮らしに関わる政策には後ろ向きな一方、安保政策・原発政策など、国家の運命を左右する重要な政策を、閣議決定によるなど、国会での審議を軽視して一大転換を図ろうとしている。こうした政治動向は、全国的に市民連合が発足する契機となった 2015 年 9 月の安保法制の制定、立憲主義の軽視とも大いに関わることであり、市民側は、反対の声を高め、立憲野党に頑張ってもらおうよう、活動をしていく必要があると思われる。

さらに、2023 年は、政治状況次第ではあるが、年末までに衆議院解散・総選挙も考えられることから、立憲野党県組織との懇談を深め、総選挙に対応出来る態勢づくりも促進させたい。

そのためには、市民連合ふくおかの掲げる【目的 3 点】と 2022 年参院選前に立憲政党に求めた【政策要望書 4 項目】を引き続き追求するとともに、【主な役割】を維持していきたい。また、以下のことにも新たに留意して取り組みたい。

【新たに留意すべき国政上の課題】

- ①敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有など、日本国憲法に抵触する軍備拡大・防衛予算の拡大に反対し、海外で戦争できる軍事大国になることを阻止する。
- ②原発政策の転換（原発の 40 年稼働の原則を 60 年に延長する、「次世代型革新炉」の開発・建設を行う）を中止させ、再生可能エネルギー中心の脱炭素・脱原発社会をめざす。
- ③統一教会との癒着など、政治の腐敗堕落を許さない。

【組織運営改善の課題】

- ①即時の情報発信については、メーリスを利用して行い共有を図っているが、情報の蓄積といった側面が弱い。衆院選・参院選の動画中心のホームページとは別に、ブログ的なホームページも作成し、各種情報を調べることができるようにしたい（つなぐ@東京のホームページなどを参考にして）。現存の市民連合ふくおか facebook・twitter の充実も図りたい。
- ②政治情勢の把握・分析を行うとともに、活動指針を提示するなど、政治情勢・政策を深掘りすることができる専門チームの発足を、検討していきたい。
- ③情勢分析や活動報告など、定期ニュースを発行する。
- ④長期的には上記②・③をめざしたいが、直ぐにできることとして、県内『参加団体』の活動（配布チラシの紹介なども含む）を共有することも行いたい。

- ⑤さまざまな労組・市民団体や、その若年層との交流を深め、活動の共有を図りたい。
- ⑥弁護士会・大学関係者との交流も深めたい（講演者としての依頼など）。
- ⑦現在活動を中断している「市民ゼミ」の問題点を整理し、再開をめざす。

参考 【年表 2022年2月～2023年1月の活動】

(2022年)

- 2/13 総会、県内団体のネットワーク型組織へ改編など
⇒毎月第3日曜日夜に運営会議、第4日曜日夜に事務局会議を ZOOM で開催（定例化）
(2/24 ロシアがウクライナへ侵攻)
- 2/27 事務局会議
- 3/6 事務局会議
- 3/13 総かがり実行委員会の天神一斉行動に共催団体として参加 毎年実施
- 3/20 運営会議
- 3/27 事務局会議
- 4/4 れいわ新選組・大島九州男さんとの懇談
- 4/16 佐々木寛さん（市民連合@新潟共同代表）ZOOM 講演会を開催
「市民と野党の共闘の先進事例を学ぶ講演会」
- 4/17 運営会議
- 4/18 社会民主党福岡県連との懇談
- 4/21 日本共産党福岡県委員会との懇談・署名
- 4/24 事務局会議
- 4/28 ふくおか緑の党との懇談
- 5/5 れいわ新選組・政策協定に署名（奥田ふみよさん）
- 5/9 福岡県教職員組合・委員長との懇談
- 5/12 ふくおか緑の党・政策協定に署名
- 5/15 運営会議
- 5/17 社会民主党福岡県連・政策協定に署名
- 5/22 事務局会議
- 5/25 自治労全国一般北九州支部の複数名と懇談
- 5/26 県労連青年部の複数名と懇談
- 5/29 立憲民主党福岡県連との懇談
- 6/12 総かがり実行委員会主催の天神一斉行動に共催団体として参加 参院選に向けて
- 6/16 立憲民主党福岡県連・政策協定に口頭同意
西日本新聞記者からの取材
- 6/19 運営会議
(参院選 6/22 告示・7/10 投開票)
- 6/28 東京・市民連合の T さんと懇談
(7/9 安倍元首相暗殺)

- 7/10 参院選投開票日
- 7/15 事務局会議
- 7/17 運営会議
- 8/21 運営会議
- 8/25 総かがり実行委員会主催の天神一斉行動に参加 沖縄県知事選・国葬反対
- 8/28 事務局会議
- 9/14 cafe 自由亭第6回 池上遊さん（弁護士、事務局）
「全解説 自民党改憲草案」1/12 現在・151 回再生
https://www.youtube.com/watch?v=_8em28z9JrA&t=4s
- 9/18 運営会議
- 9/21 cafe 自由亭第7回 石川捷治さん（九大名誉教授・政治学、顧問）
「アジアの平和と日本の政治」1/12 現在・177 回再生
https://www.youtube.com/watch?v=mEQmZPc_714&t=48s
(9/27 安倍元首相の国葬実施)
- 9/27 総かがり実行委員会主催の天神一斉行動に参加 国葬反対
- 10/5 cafe 自由亭第8回 星乃治彦さん（福大名誉教授・歴史学、共同代表）
「教訓としてのドイツーコロナ・ウクライナの現在ー」1/12 現在・199 回再生
<https://www.youtube.com/watch?v=tR-bcZTQjUo&t=2314s>
- 10/16 運営会議
- 10/23 事務局会議
- 11/3 福岡県九条の会主催の集会・スタンディング 共催団体として参加
(福岡市長選 11/6 告示・11/20 投開票)
- 11/15 福岡市から政治をかえる会 田中しんすけさん演説会・中野晃一さん講演
国政・地域の8政党が参加
- 11/27 運営会議
(12/16 安保3文書改定の閣議決定あり)
- 12/17 総かがり実行委員会主催の天神一斉行動に参加 安保3文書改定反対
- 12/18 運営会議
- 12/26 事務局会議
(2023年)
- 1/10 社会民主党福岡県連と懇談
- 1/15 運営会議
- 1/16 立憲民主党福岡県連と懇談
- ※その他、日本共産党福岡県委員会などとの懇談も予定。
- 1/22 事務局会議
- 1/29 「日本の平和をどう考え、どう伝えるか」学習会 講師：星乃治彦さん
- 2/5 総会